



自社のデータセンターや、サービス プロバイダーのデータセンター、Windows Azure の一元管理を行う Microsoft System Center 2012 R2 を使用することで、[マイクロソフト クラウド OS](#) のメリットを実感できます。

クラウド OS をサポートする System Center 2012 R2 によるアプリケーションのパフォーマンス監視機能は、豊富な診断機能と洞察をアプリケーションの所有者および IT チームに提供し、予測可能なアプリケーション SLA の実現を支援します。System Center 2012 R2 によるアプリケーションのパフォーマンス監視機能は以下を実現する機能を提供します。

- .NET および Java アプリケーションを対象としたリッチな APM 機能の提供
- 自社アプリケーションの実環境におけるパフォーマンスと可用性の正確な把握
- アプリケーションの問題に対する迅速な対応

ビジネスにとってアプリケーションは非常に重要な存在です。ビジネスクリティカルなアプリケーションは、可用性を確保し、SLA の定義に従い、高いパフォーマンスを提供する必要があります。細密なアプリケーション診断を簡単に実施できれば、ダウンタイムの発生前に、あるいは生産性に影響を及ぼすことなく問題を解決できます。Microsoft System Center 2012 R2 が提供する充実した診断・洞察の監視機能は、予測可能なアプリケーション SLA を実現し、アプリケーション ライフサイクルを加速させ、優れたエンドユーザー エクスペリエンスを約束します。

充実したアプリケーションの正常性監視

ミッションクリティカルな基幹系アプリケーションは、ビジネスの成功にとって欠かせない要素です。予測可能な SLA により、こうしたアプリケーションは可用性と高いパフォーマンスを維持できます。また、細目にわたるアプリケーションの測定基準を利用することで、自社のインフラストラクチャの正常性を監視し、ベストプラクティスに基づく対応を実施できます。System Center 2012 R2 を使用すれば、アプリケーションの問題を迅速に診断し、必要な対応を即座にとることができます。System Center 2012 R2 は、アプリケーションおよびワークロードの最適化を常に重視しながら、予測可能なアプリケーション SLA を後押しする優れた洞察を提供します。

アプリケーションに対する深い洞察

今日では、多くの基幹系ビジネスアプリケーションが、企業のファイアウォールの内側と外側で動作する配布コンポーネントを使用しています。System Center 2012 R2 Operations Manager は、.NET および Java アプリケーション用に強力なアプリケーション パフォーマンス監視機能 (APM) を提供し、ビジネスクリティカルな自社アプリケーションの可用性を確保します。.NET アプリケーション用として、System Center 2012 R2 および System Center 2012 SP1 には、パフォーマンスおよび可用性の測定基準が豊富に用意されています。そのため、サーバー側の監視、クライアント側の監視、エンドユーザー エクスペリエンスの監視、総合的なトランザクション監視など、複数の観点による監視が可能です。また、使いやすいレポートおよびダッシュボードでは、SLA を効率よく追跡、評価できます。この他に、コードレベルの問題追跡機能により、自社で記述したアプリケーション コードでなくても問題となっているコード行を識別できます。Java アプリケーション用には、System Center 2012 の機能として Java APM が用意されています。Windows と Linux (RHEL/SUSE ディストリビューション) 環境間で動作する、Tomcat アプリケーション サーバー (V5.5、V6、V7 に対応) に対応し、標準的な Java アプリケーションのフレームワークにも幅広く対応しています。

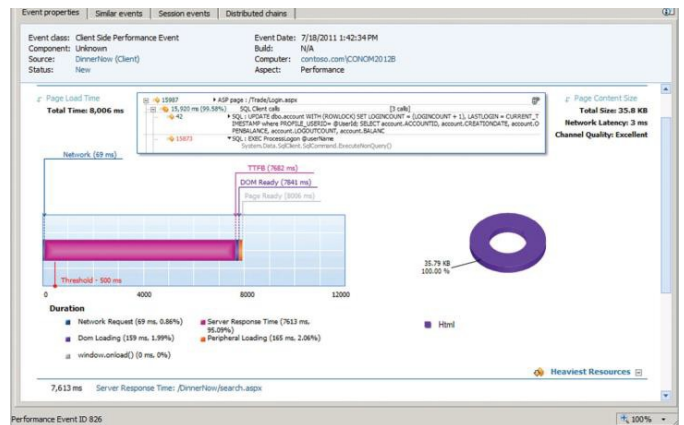
洞察を提供する、クラウドに統合された使い慣れた監視コンソール

アプリケーションをグローバルに展開するアプリケーション所有者には、エンドユーザー エクスペリエンスの正確な把握が求められます。System Center のお客様向けにソフトウェア アシュアランス特典として提供される、System Center のグローバル サービス モニター (GSM) を使用することで、自社アプリケーションの実環境におけるパフォーマンスと可用性を、Windows Azure のグローバルなポイント オブ プレゼンス (PoP) に基づいて効率よく評価できます。Operations Manager は GSM に対し、Web テストを実施すべきアプリケーション エンドポイントを通知するほか、スケジュールも策定します。最終結果は、アプリケーションの正常性の評価や、必要な対応を決定する概略データ一式として出力されます。

System Center のコンポーネントである、System Center Advisor を使用すると、Windows Azure から得られたマイクロソフトのワークロード (SQL、Exchange、Lync および SharePoint) のベスト プラクティス構成ガイダンスを、Operations Manager のコンソール内で活用できます。また、Operations Manager には、管理パックの包括的なナレッジベースが組み込まれています。この管理パックによって、マイクロソフトのワークロードだけでなく、SAP などのサードパーティ製エンタープライズ LOB アプリケーションの可用性とパフォーマンスの最適化が可能になります。

開発と運用の統合による人、プロセス、システムの連携

クラウド コンピューティングやモダン アプリの世界では、アプリケーションが機能面、パフォーマンス面で常に最新であることが重要です。Operations Manager は、コネクタ経由で Microsoft Visual Studio と統合して、開発と運用の生産性の高いコラボレーションを可能にします。コネクタを使用することによって、Operations Manager で提供される詳細な診断と洞察を開発者の作業キューに容易に直接送信することができます。また、統合された Microsoft Monitoring Agent により、IntelliTrace テレメトリを System Center と Visual Studio の統合に組み込むことができます。そのため、開発者は使い慣れた環境でアプリケーションの問題をデバッグできるため、開発者の生産性が向上します。さらに、System Center と Visual Studio 間に統合された GSM により、定義済みの Web アプリケーション URL やしきい値を使用して、関連するエンドユーザー エクスペリエンスの測定基準を共有できます。こうした、機能の組み合わせにより、アプリケーションの問題により迅速に対応し、予測可能な SLA の実現が可能になります。



.NET アプリケーションへの深い洞察により、根本原因となるコード行を突き止めて、問題をすばやく解決することができます。

次のステップ

- System Center 2012 R2 に関するその他のリソース: <http://www.microsoft.com/ja-jp/server-cloud/products/system-center-2012-r2/>
- System Center 2012 R2 (TechNet) <http://www.microsoft.com/technet>
- System Center 2012 R2 のダウンロードおよび評価: http://technet.microsoft.com/ja-jp/evalcenter/dn205292?WT.mc_id=Social_R2_R2_General
- System Center Marketplace (英語): <http://systemcenter.pinpoint.microsoft.com>
- ブログ (英語): <http://blogs.technet.com/server-cloud>